

動物にやさしいエコロイド

天仁屋小学校 五年

大城 涼麻

去年の十一月二日、ぼくが四年生のときのことです。エコロイド見学がありました。全校生徒七人と先生方で行きました。総合の時間で環境について学習しているので、生き物と道の関わりを調べるためです。北部国道事務所の人たちもいっしょでした。

みんなが乗っても席が余るほど、大きなバスで行きました。バスの中では、事務所の人たちが道やトンネルについてクイズ形式で問題を出したので、みんなで考えました。ある問題もありましたが、ほとんどおぼろしく、初めて知ったものもありました。

特にトンネルについてのクイズがどれも面白くて、沖縄で一番長いトンネルは何メートルでしようかという問題は、まったくわかりませんでした。

でも、トンネルがなぜアーチ形をしている

のかという問題は、国語の教科書で習っていたので、よくわかりました。

最初に、やんばる野生動物センターに行

きました。そこでは、やんばるの森やそこに

住む生き物たちについてのえい画を見ました。

写真やほくせいもありました。ぼくが一番、

印象に残ったのは、ノグチゲラです。名前は

知っていました。が、テレビでも見たことがな

かったがらす。やんばるの森がなくなれば

ノグチゲラは、絶滅するだろうという説明を

聞いて、お森を大事にしないといけないと思

ました。

次に、国頭村の奥に行きました。そこでは

ヤマカメラロードキル村さくというところを

いきました。標しき板は、カメラ注意と書か

れていました。道のわぎのみそに、スロープ

がついていて、みそに落ちたひなや、小さい

生き物が上がってこれるようになっているとい

う説明がありました。カメラが道にはい出るこ

とのないように高さ二十センチメートルほど

の小さなへいカーキロメートルほど続いている
ました。

ぼくは、いろいろな工夫をして、ヤマガメ
を守っていることを初めて知り、すごいアイ
デアだと思いました。でも、人の便利のため
めに道を作ったのだから、人が動物を守るの
も当然だと思いました。ぼくは、そこで新聞
記者のインタビューを受けました。何日かし
て新聞記事にぼくの意見がのりました。

最後に、大寒味村きじよかのっカニさんト

ンネルに行きました。トンネルは、山と海
をつないで、道路の下にありました。山にい
るカニかばんしょく期になると、さんらんの
ために海に行きます。その時に、道路をあた
て車にひがれてしまわないように、作られ
たそうです。ぼくたちは、実際に入ってみる
と、意外にせまかったです。
ぼくは、エコーロード見学をして、人は人な
らに、環境に良い道を作っている人だと思い
ました。